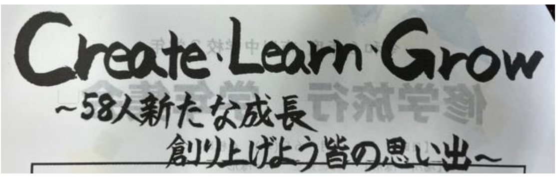
保護者向け学校通信

創る

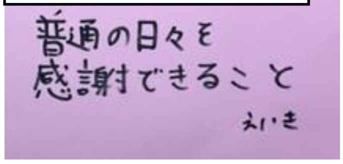
スマホで撮影した「プレアデス星団（すばる）」　冬空は美しい

令和７年
２月１４日（第２０号）
学校長　村松　章史

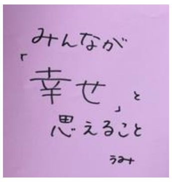
最近の各学年の様子から（２年生）
「学校の顔」となるために



「平和」とは・・・



中学校生活も残り１年余りとなった２年生。生徒会活動を３年生から引き継ぎ、様々な場面でリーダーとしての活躍が目立っています。３年生に進級するとすぐに修学旅行が計画されており、その学習も進んできているところです。２月６日（木）には学年集会が開かれ、修学旅行スローガン「Create・Learn・Grow」を決定し、「団結力・思考力・判断力をレベルアップさせる」という目標を掲げました。



また、「広島」を訪れるに当たって、グループごとにメッセージを書き込んだ紙で鶴を折りました。これから１人あたり約 20 羽の鶴を折るときにも、そのメッセージを心に思いながら折ってくれることと思います。

集会の最後に司先生から、「修学旅行、58 人みんなで行きたいんだ」「みんなで同じことを考えている、同じことに取り組んでいる、その瞬間を大切にしたいんだ」とメッセージがありました。

修学旅行の学びを通し、「学校の顔」として大きく成長していく姿に期待します。

社会科「地域の防災を考えよう」
ゲスト・ティーチャーを招いて

２月 13 日（木）には、町の防災課よりゲスト・ティーチャーとして依田さん（本校卒業生）をお招きし、「地域の防災」について考える学年合同の社会科授業を行いました。依田さんからは、日本における地震被害の記録や、南海トラフ巨大地震が起きた際の市川三郷町の被害想定、町が行っている地震への備えなどについてお話がありました。中学生は「自助・共助・公助」のうち「共助」において、活躍が期待される存在でもあることから、「自分たちにできる『共助』」について考え、意見交換を行いました。生徒からは、「日常から地域であいさつをしたり声をかけ合ったりすることが大切なこと」「（避難の困難な）高齢者を助けること」「不安になっている人の話し相手になること」などの意見が出されました。

半世紀近く大きな災害に見舞われることがなかったこの地域。それだけに「他人事」と考えてしまいがちです。これから学校のリーダーとなる２年生には、今回の学びから、「災害のリスクと共に生きていく上で、どうすれば自分事として考え、率先して行動できる人になれるのか」を考え、アイディアを出してくれることに期待します。学校という社会においても、２年生の力がとても必要です。

次回は、卒業を控えた３年生です。